







## 未来の食と農業を支える 力になりたい

私たち日本農薬は、1928年に国内初の農薬専業メーカーとして創立され、「食と緑を守る」企業として、農薬の研究開発・普及を中核事業に位置づけて技術革新に努めてきました。世界人口は今後急激に増加し、2050年には97億人に達すると予測されています。こうした人口増加や需要構造の変化により、世界の作物需給がひっ迫することが懸念されています。品質の揃った農作物の単位面積当たりの収穫量を上げ、農業生産性を向上させることは、作物の安定供給における喫緊の課題です。このような課題を解決する一助として、農薬はこれまで以上に大きな役割を果たすことが期待されています。

私たちは、作物の安定供給を目指した農業生産活動をお手伝いするという使命と役割を果たすため、国内外で効果、コスト、安全性に優れた農薬の創出と提供を続けていきます。また、グローバルな視点で成長戦略を進めることで創薬基盤と事業競争力の強化を図り、CSR活動にも積極的に取り組みながら、未来の食と農業に貢献していきます。

## 日本農薬グループの基本理念

- ・安全で安定的な食の確保と、豊かな生活を守ることを 使命として、社会に貢献します。
- ●技術革新による新たな価値の創造にチャレンジし、市場の ニーズに応えます。
- 公正で活力ある事業活動により全てのステークホルダーの信頼に応えます。



### グループビジョン

# Nichino Group - Growing Global

新規農薬、医・動物薬など、顧客ニーズに適う先進技術を 提供し農業生産や健康的な生活を支える

低環境負荷製品、省力化技術など、SDGsに資する製品、 サービスを拡大し持続可能な社会に貢献する

#### ~ビジョン達成を目指して~ 新中期経営計画の基本方針

当社は、グループビジョンの達成に向けて新たなコーポレートステートメント「Global Innovator for Crop & Life 食とくらしのグローバルイノベーター」を掲げ、前中期経営計画に引き続きグローインググローバルを確固たるものにする基盤強化を行います。基盤強化としては、グループシナジー拡大を含めた収益性の向上に加え、技術革新・次世代事業の確立、持続的な企業価値の向上を基本方針とし、先進技術による農業生産や健康的な生活を支え、持続可能な社会に貢献する企業グループを目指します。

## **Ensuring Growing Global 2**

グループKPI

営業利益

売上高

64億円

890億円

配当性向

30%以上

更なる 成長戦略の遂行

日煙帯上宮

1,000億円

今までの グローバル 展開

## 基盤強化

■ 収益性の向上

. . . . . . . .

- ■技術革新・次世代事業の確立
- 持続的な企業価値の向上

## 事業内容・主力製品

農薬の製造・販売をコア事業として、日本農薬グループは化学品、医薬・動物薬などにも事業領域を 拡げ、安全で品質の高い製品を提供しています。





#### 主な製品

日本初の農薬専業メーカーとして積み重ねてきた研究開発力と信頼を基盤に、 国内だけでなく海外でも積極的に事業を展開しています。また、現場の環境やニーズ に合わせ、地域に密着した農薬の使用技術の普及に努めています。



#### オーケストラ®フロアブル (有効成分:ベンズピリモキサン)

当社が開発した新規有効成分を含有する 水稲用ウンカ類殺虫剤です。既存薬剤に 効果が低下したウンカ類に対しても高い 効果を発揮します。体内のエクダイソン (昆虫脱皮ホルモン) 濃度を攪乱して脱皮 異常を引き起こし、殺虫効果を示します。 天敵・有用昆虫への影響も少ない薬剤 です。



### フェニックス®顆粒水和剤

(有効成分:フルベンジアミド)

昆虫の筋収縮症状を示す新規作用をもつ 園芸用殺虫剤として、世界で初めて開発 されました。優れた効果持続性を発揮す るチョウ目害虫防除剤として、国内および 海外で広く愛用されています。



#### パレード®20フロアブル(野菜用) パレード®15フロアブル(果樹用)

(有効成分:ピラジフルミド)

野菜・果樹の幅広い病害に高い効果を 発揮する新しい汎用性園芸用殺菌剤で す。優れた殺菌活性だけでなく、降雨 の影響を受けにくく、効果持続性にも 優れています。



## コルト®顆粒水和剤

(有効成分:ピリフルキナゾン)

昆虫の行動を制御して作物を保護するタ イプの園芸用殺虫剤です。従来の殺虫剤 にはない新規作用によって、有機リン剤、 カーバメート剤などの既存の薬剤に対 して感受性が低下した害虫にも有効で、 高いウイルス媒介抑制効果を発揮します。



## ブイゲット®箱粒剤

(有効成分:チアジニル)

イネのいもち病や細菌病に対して、イネが 本来有する病害抵抗性を活性化して効果 を示します。直接的な抗菌作用はないた め耐性菌が発達するリスクは低く、既存剤 に耐性を示すいもち病菌にも有効で、安 定した効果が長期間持続します。



#### フジワン®粒剤

(有効成分:イソプロチオラン)

「フジワン」は、当社初の自社開発剤とし て1975年に誕生しました。もともとはい もち病防除の殺菌剤として開発されまし たが、今では植物成長調整作用など多面 的機能をもつ薬剤として、多くの場面で活 用されています。

化学品



化学品では、家庭園芸、緑地管理、シロ アリ防除向けなど幅広い製品を取り扱っ ています。



農薬の殺菌剤の研究から生まれた水 虫薬(外用抗真菌剤)を国内および 海外で販売しています。

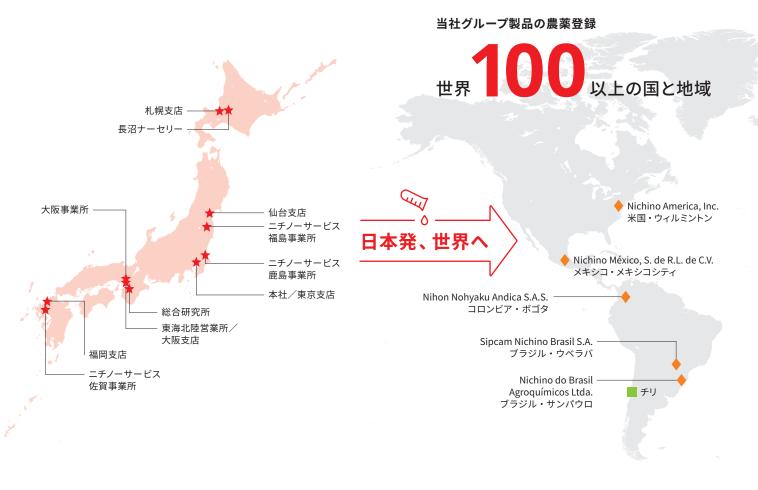


造園緑化工事や農薬残留分析、不 動産の賃貸なども行っています。

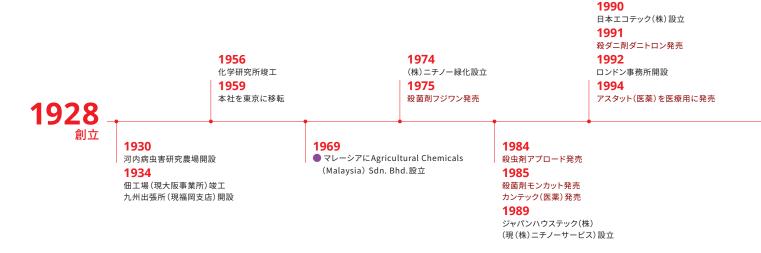
## 世界に広がるネットワーク

私たちは、アジア・米州・欧州の三極体制で海外拠点の拡充を図り、現在では100以上の国と地域で 当社製品の農薬登録を取得し、積極的に開発・普及活動を展開しています。

- ★ 国内拠点
- ♦ 海外グループ会社
- 海外出資会社
- サテライトオフィス



## 沿革



#### 海外売上高比率(連結)

**62.7**%

積極的に海外展開を進め、売上を拡大

#### 売上高研究開発費比率(単体)

9.1%

業界内でも高い比率を維持し、研究開発力を 強化

#### 従業員数(連結)

1,484

国内633名、海外851名の従業員が世界で 活躍

#### 女性管理職比率(単体)

8.8%

2023年度13%、2030年度22%を目標に 推進

(2021年3月現在)



#### 2001

◆米国にNichino America, Inc.設立

#### 2002

(株)トモノアグリカより営業権の一部を譲受 三菱化学(株)より農薬事業を譲受 殺虫剤ハチハチ、ピラニカ承継 殺菌剤Zボルドー承継 除草剤インダノファン承継

2003

殺菌剤ブイゲット発売

#### 2010

殺虫剤アクセル、コルト発売

#### 2011

♦ 日農(上海)商貿有限公司設立

#### 2014

アリスタライフサイエンスアグリマート(株) (現 (株) アグリマート) を完全子会社化 ブラジルのSipcam Agro S.A. に出資 (社名をSipcam Nichino Brasil S.A.へと変更)

♦ Nichino do Brasil Agroquímicos Ltda.設立

#### 2017

♦ Nichino Vietnam Co., Ltd.設立

#### 2018

→ コロンビアのAdnicol S.A.S.の株式を取得 (社名をNihon Nohyaku Andica S.A.S.へと変更) 殺菌剤パレード発売

(株)ADEKAと資本業務提携

#### 1995

総合研究所完成

ニューヨーク事務所開設

#### 1996

◆ 台湾に日佳農葯股份有限公司設立

#### 1999

除草剤エコパート、サンダーボルト発売

#### 2005

上海事務所開設

ルリコン(医薬)を医療用に発売

#### 2007

◆ 英国にNichino Europe Co., Ltd.設立

殺虫剤フェニックス発売

プラク-ティック(動物薬)、プロメリス(動物薬)発売

#### 2015

◆ Hyderabad Chemical Ltd. (現Nichino India Pvt. Ltd.) を子会社化 殺ダニ剤ダニコング、ダブルフェース発売

#### 2016

◆ Sipcam Nichino Brasil S.A.を連結子会社化 ネクサス(シロアリ防除剤) 発売

#### 2020

◆ Nichino America, Inc.子会社 Nichino México, S. de R.L. de C.V. を設立

#### 2021

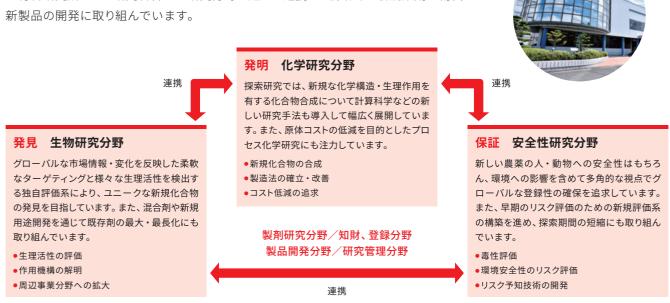
殺虫剤オーケストラ発売

## 新たな価値を創造する研究開発力

私たちは豊かな食を支え、緑を守るため、グローバルな視野で時代のニーズに合った新しい農薬を 開発し続けています。その原動力となる研究開発に、継続的に売上高の約1割を投資し、新しい農薬を 「3年に1剤」創出することをミッションとしています。

#### 総合研究所の役割

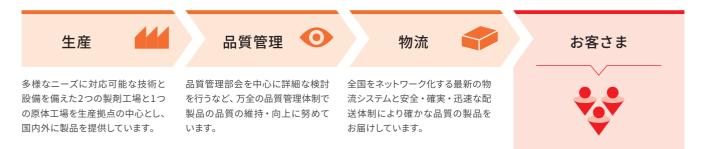
総合研究所では、研究者各々の研究分野を超えて連携し、戦略的な新規薬剤の創製や



## 私たちの責任

#### 品質の高い製品をお届けする

食の安全と環境保全に対する関心が一層の高まりをみせる中、農薬を扱う企業として、私たちは「生産」、「品質管理」、「物 流」などサプライチェーン全体の最適な管理に努め、安全に使用できる製品をお客さまにお届けしています。



#### 各種認証を取得

製造および物流業務を担う(株)ニチノー サービスは、「ISO9001」、「ISO14001」および 「ISO45001」の認証を取得し、優れた品質管 理のもと、環境保全と労働安全衛生に配慮 した事業活動を積極的に進めています。

#### 原料・製品の安全管理

農薬をはじめとする化学品を安全に取り扱 い、労働災害や事故を未然に防ぐことを目的 に、リスクアセスメントに必要となる約600件 の安全データシート(SDS)を作成し社内外に 提供しています。

#### レスポンシブル・ケア活動の推進

当社はレスポンシブル・ケア世界憲章に署名 し、一般社団法人日本化学工業協会のレスポ ンシブル・ケア委員会に加入して、安全性に優 れた製品の創出と環境負荷の低減および健康 の確保に配慮した事業活動に努めています。

## 会社情報 (2021年6月現在)

商号 日本農薬株式会社 本社所在地 〒104-8386 東京都中央区京橋1-19-8 (京橋OMビル) TEL: 03-6361-1400 創立 1928年(昭和3年) 11月17日 資本金 14,939百万円 主要事業内容 農薬、医薬品、動物用医 薬品、工業薬品、木材用 薬品、農業資材などの製

造業、輸出入業、販売業

#### 取締役

代表取締役社長 洋 友 # 介 宍 戸 代表取締役兼専務執行役員 康 司 取締役兼常務執行役員 矢 野 博 久 町 谷 幸 =取締役兼上席執行役員 山野井 世 Щ 本 秀 夫  $\blacksquare$ 浩 岩 幸 取締役 郡 昭 夫 取締役(社外) 松 井 泰 則 寸 花 和 義 取締役 常勤監査等委員 東 野 純 明 取締役 監査等委員 冨 安 治 彦 戸井川 岩 取締役 監査等委員(社外) 夫 中田 ちず子 大 島 良 子

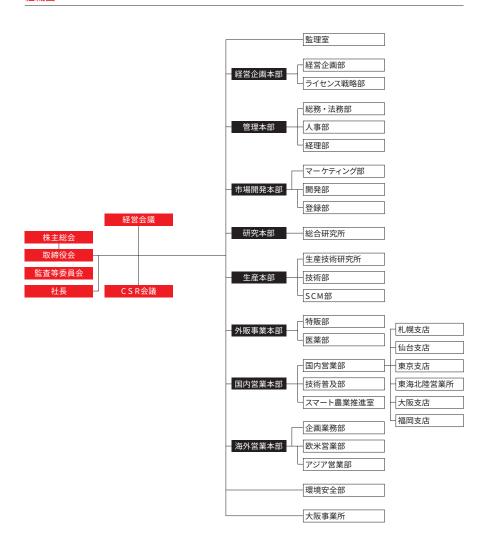
#### 執行役員

常務執行役員 Jeffrey R. Johnson 上席執行役員 井ノ下 順二郎 髙 橋 史 郎 元 場 彦 西 松 哲 義 谷 吉 執行役員 Щ 隆 原  $\blacksquare$ 浩 子 谷 元 央 奥 村 博 Manfred Hilweg

#### 事業所

本社 札幌支店 仙台支店 東京支店 東海北陸営業所/大阪支店 福岡支店 総合研究所 長沼ナーセリー

#### 組織図



#### 主なグループ会社

国内 株式会社ニチノー緑化 株式会社ニチノーサービス 日本エコテック株式会社 株式会社アグリマート 海外

Nichino America, Inc. Nichino Europe Co., Ltd. 日佳農葯股份有限公司 日農 (上海) 商貿有限公司 Nichino do Brasil Agroquímicos Ltda.

Nichino India Pvt. Ltd.
Sipcam Nichino Brasil S.A.
Nichino Vietnam Co., Ltd.
Nihon Nohyaku Andica S.A.S.
Nichino México, S. de R.L. de C.V.

#### 🛂 当社Webサイトもご覧ください

• 会社紹介映像

大阪事業所

https://www.nichino.co.jp/page\_00162.html

• 所在地

https://www.nichino.co.jp/ corporate/page\_10066.html



https://www.nichino.co.jp/corporate/page\_10067.html







